

美杉消防団と連携して林野火災訓練を実施

白山消防署



美杉分署隊のタンク車から一線の補水を得る美杉消防団第4分団(左前方)

澄み切った雲ひとつない秋晴れの中、十一月二日に美杉石名原のフットパーク美杉で白山消防署(長谷川雄一署長)と美杉消防団(米倉義房団長)が火災の多発するこの時期をとらえて林野火災の連携訓練を行いました。

同管内は山林に囲まれた地形から、いざ火災が発生した場合、延焼規模が拡大することが予想され、また、ハイカーなどによる登山者が多いこともあり、迅速・的確な消防活動や円滑な指揮体制の確立を図ることなどを目的に実施されました。

この地域は、山林など管轄区域が広大で、地元消防団との連携が不可欠であるため、地域の実情に応じた訓練となりました。今後も署員と団員が一丸となって、安全・安心な街づくりを目指します。

津市国際交流デーで 防火防災意識を啓発

2007



水消火器の取り扱いを体験する在住外国人

十一月四日、西丸之内のお城西公園で、津市国際交流協会主催の「二〇〇七津市国際交流デー」国際屋台村が開催され、南米やアジアなどから多くの外国人が参加し交流を深めました。

消防ブースでは、中消防署員が消火器の取り扱いや心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)の取扱方法の指導など、また住宅用火災警報器の普及活動を行いました。

ら、消火器の取り扱いはもちろん、周りに大きな声で「火事だ」と知らせるようにと通訳を介して指導を行いました。会場には、地元の親子連れも多数参加し、ミニ消防車やスクーター車をバックに記念撮影などで賑わっていました。

外国人は緊急時に「言葉の壁」が大きな障害となり、火災の発生の際の初期対応が重要なことか

敬和地区の自主防災会が 大地震に備え 行動要領を再確認!



地域住民によるバケツリレー

中河原の敬和小学校において十月二十八日に、敬和地区の第10自主防災会(渡辺千秋会長)と第11自主防災会(平子守会長)の地区住民約百名が、地元の津消防団敬和分団(本橋克己分団長)の指導のもと、大地震に備えた訓練を行いました。

消火訓練のほか、中署員による負傷者の応急手当や搬送法、AED(自動体外式除細動器)の取扱方法の指導などが行われました。

また、市防災危機管理室の担当者による「地震と津波」と銘打った防災講演会では、参加した住民も災害への危機感を感じつつ真剣に耳を傾けていました。

楽しい登山は無事故から! 山岳救助訓練を実施

中消防署 北消防署

中消防署と北消防署は十月二十五日に芸濃町河内の錫杖ヶ岳(標高六七六m)において、消防救助隊員二十一名による山岳救助訓練を行いました。

訓練では、登山者の遭難を想定して、山中において実際に活動すべき急斜面からの滑落者の引き揚げや急勾配の登山道を安全に搬送する訓練を実施。また、移動時には、携帯無線機・携帯電話などの通信感度調査や錫杖ヶ岳の地形の把握、さらに登山道周辺の清掃活動も併せて行われました。

錫杖ヶ岳では、数年前に登山者が道に迷って一夜を山中で明かしたという遭難事例もあり、いつこのような山岳遭難事故が発生しても、迅速に対応ができるように全隊員は真剣な表情で取り組みました。



バスケット担架による 滑落者の搬送訓練